

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 上森 節子

| | | | | | | |
|---------------|--------------------------------|----|----|----------------------|--------|--|
| 日時 | 2022年5月16日(月) 10時10分～16時20分 | 天候 | 曇り | コース名： 第30回よりみちクラブ | | |
| 案内団体 又は催事名 | 新緑の葛城の里を巡る | | | 人数 | 大人:21名 | |

集 合:近鉄・御所駅 10時10分

ガイド:松浦様(御所市観光ボランティアガイド)

行 程:近鉄御所駅 10:20 臨時バス葛城ロープウェイ行き乗車～猿目橋降車～六地藏～駒形大重神社～番水の時計～九品寺～一言主神社～室宮山古墳～寶國寺～野口神社～鴨都波神社

出席者:久賀田・高宮・玉尾(洋)・服部・村上・義田・北川・澤井・武田・上森・竹山・田中(和)・伊時・森嶋村・山下(裕)・山岡・山田(勝)・玉尾(ひ)・堀内(け)・奥山
(ガイド松浦さん+21名)

- 10:25 臨時バスにて猿目橋まで移動。葛城ロープウェイ前までのバスだったが、山下さんが交渉してくださり、途中猿目橋で停車してもらう。
- 10:27 六地藏:このあたりは櫛羅(くじら)という難読な地名。猿目集落にぽつんと巨石が現れる。伝承によるとこの巨石は、室町時代に発生した土石流によって現在の場所に流れ着きお地藏様が刻まれたという。
- 10:35 番水の時計:のどかな田園風景の中を歩いていると、小さな時計台を発見!ここの時計で時を計り分水して、段々畑に平等に水を送っているのだという。
- 11:00 駒形大重神社:駒形神社は木股の神、木、水、安産の神、大重神社は、家内安全、学業成就、良縁成就に御利益があるそうだ。古くは当領地内でそれぞれ鎮座されていたが、諸般の事情により明治に駒形大重神社と合併奉祀された。木股は「この又」とも読むため、駒形と転化したものらしい。
- 11:30 九品寺:聖武天皇の勅により行基が開基した戒那千坊の一つと言われている。本尊は阿弥陀如坐像で藤原時代の造。近鉄奈良駅に行基像と同じお顔の行基像がご本堂前におられた。寺の裏の丘には千体石仏といわれる石仏があり、南北朝時代に城主榎原氏が楠木正成公とともに南朝に味方し、北朝と戦った時の家族や地元の人々が身代わりに奉納したと伝わっている。実際は1600体あるとか。九品の意味は人の品格のことで、上品、中品、下品がそれぞれに三段階に分かれているらしく、私はさしずめ中品の下くらいかな?とか考えながら、空腹を感じ、もうすぐ昼食だと寺を後に足取りが逸る。
- 11:50 葛城一言主神社:雄略天皇が葛城山で狩りをしたときに現れた神様として、古事記、日本書紀に登場する。一言の願いであれば、どんなことでもきいてくれるという。
近世ではいちごんさんと呼ばれ、全国各地の一言主神社の総本社。境内に樹齢1200年と言われる乳イチョウがあり、なるほどたくさんの乳房を思わせる膨らみが垂れ下がっていた。
一言の願いを何にしようかを迷ううち、お腹すいたな早くお弁当!と考えてしまい「あ、しまった!」と思ったがもうおそかった。トイレをお借りして、石段の下で記念撮影、昼食場所に移動。
- 12:20 駐車場らしき広場前の原っぱで昼食。
- 12:50 ガイドのユニークな私見を聞きながら、室宮山古墳めざし田園風景や金剛葛城山を背に出発。
- 13:20 室宮山古墳:巨大な古墳が存在する大和の中でも屈指の規模をもつもので、墳丘には花崗岩の割石を用いた葺き石や円筒埴輪の破片や竪穴式の石室の天井石や木簡、三角縁神獣鏡を含む銅鏡11面、勾玉などの副葬品が数多く発見された。多くの埴輪が外向きに立ち並んでいたらしく、まるで生前の被葬者を護衛しているかの様だ。そして聖域を守るかのようにも感じられる。
舟形の埴輪も出土しており、当時の人たちは、死者の魂は舟に乗ってあの世に行くと考えていたようだ。室宮山古墳の後円部に墳丘中軸をはさみ南北に2基の竪穴式石室があり、内部に長持形石棺が納められており、盗掘をきっかけに調査が行われ、南石室がのぞけるような穴からのぞくことができ、全国から見学者が絶えないらしい。二人ずつ懐中電灯で照らしながらのぞき、しばし石棺内にねむっていたであろう太古の大王に思いを馳せた。
仁徳天皇の皇后磐之媛の父葛城襲津彦の墓とも言われるが、100年前史跡名勝天然記念物に指定さ

れてから17次の調査が行われているが、明らかにはなっていない。古墳登り口には榎原神宮の方向に向いて神武天皇の遙拝所があった。

- 14:00 寶國寺(室の御大師さん):副住職の永田道範さんの、巧みな話術のお話をきく。
宮山古墳の御霊を鎮める為この地に弘法大師が開かれたと古文書にある由緒あるお寺。
昔は寺の下は古墳の環濠であったとか、一時間くらいの深いお話をいただき、お茶とお下がりの
瓦せんべいを土産に頂いた。この境内にも立派なイチョウがあった。
- 15:00 ここから4名がタクシーにて駅に向かいガイドを含む18名が歩いて野口神社へ向かう。
- 15:20 野口神社
- 15:30 鴨都波神社
- 16:00 解散

所感等

田園風景や金剛葛城、大和三山を眺めながらの歩きは2万歩を超えたが、みんな元気で、歩くスピードが早くガイドさんも追い抜くほどだった。天気が丁度良い曇りで涼しかったのが良かったと思う。好評であり葛城の里第2弾も、との声がきかれた。

(特記事項)

下見の時、最初から歩きで鴨都波神社、六地藏のコースを予定していたが、最後の宮山古墳に上がる体力が無い人もおられるかとの配慮からバスを選択したのが正解だった。ほとんどの人が完走できた。
寶國寺さんから思いがけず手厚い歓迎を受け、参加者から250円ずつ集めお布施としてお渡しした。

